



## 2学期定期学校訪問シリーズ③ 東雲中、東雲小

# 組織的に取り組むとは、全教員が行うこと

今回の学校訪問を通して、「組織的に取り組むとは、全教員が行うこと」が大切と強く感じました。

東雲中学校では、校長が課題であると思うことを焦点化して、その課題解決に向けて各教科等や各教員の特性や持ち味を生かしつつも、全教員が同じスタンスで指導を行っていました。

東雲小学校では、学校訪問に向けての板書計画を教員全員で検討し、互いの授業イメージを鮮明にするとともに、記述の仕方などの統一を図っていました。

組織的に取り組むと言っても、ほとんどの場合、各教職員のイメージは異なります。また、個々には不明瞭な場合もあります。重点化し、具体的イメージを共有して、短期にそれが全ての教室（授業）で行えるようにするとともに、精度を上げていけるように会議や互見授業の持ち方を工夫していきましょう。

### 東雲小の取組



○全てのクラスに単元を貫く言語活動に基づいた国語の指導計画を掲示し、進度を明示していました。

単元の到達像を明確にした指導計画

### 東雲中の取組



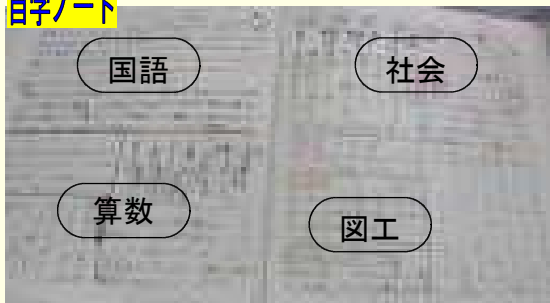
○体育の授業では、体を動かす時間も十分にあり、言語活動（書く）の時間も十分に確保して指導していました。

自分たちの作戦をワークシートに書いて振り返る

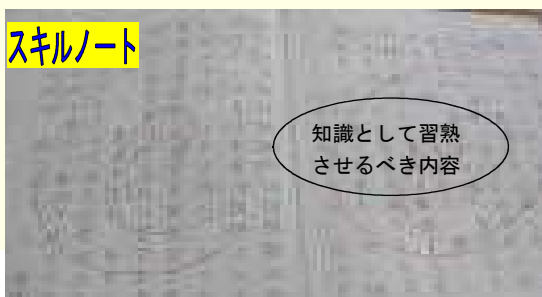
### 参考にしたい取組

①スキルだけでなく、その日に学習したことの要点をまとめる自学ノートに取り組む

#### 自学ノート



#### スキルノート



②実態やねらいに合わせて思考ツールを活用する

#### 防災について調べたことをマップに整理



#### ボードのイオンモデルで、電流の流れるしくみを説明する

